

# 熊本ファミリー銀行 ミニディスクロージャー

【平成16年9月期(16年度中間期)の業績】

地域にいいこと。  
地球にいいこと。

エコで行こ。

銀行が地球のためにできることって何だろう。  
一人ひとりの心がけや思いやりはもちろん。  
お客様がもっとエコに参加しやすい環境づくりのために。  
私たちならではのサービスや商品をお届けする。  
熊本ファミリー銀行は始めます。  
私たちからできること。  
地球にやさしい銀行、そして環境問題に取組む人にうれしい銀行へ。  
エコと言えば一言に思い出していただけるような。  
そんな熊本ファミリー銀行を目指します。

 熊本ファミリー銀行  
KUMAMOTO FAMILY BANK

本店 熊本市水前寺6丁目29番20号  
 設立 昭和4年1月19日  
 (平成16年9月末主要計数)  
 総資産 1兆2,627億円  
 預金 1兆1,614億円  
 貸出金 9,918億円  
 資本金 342億円  
 自己資本比率 7.77%(国内基準)  
 店舗数 78店舗(うち出張所2店舗)  
 行員数 1,215名

ホームページアドレス  
<http://www.kf-bank.jp>



ごあいさつ

平素から、熊本ファミリー銀行をご利用いただき、誠にありがとうございます。

皆さまに地域金融機関としての当行をより一層ご理解いただくために、このミニディスクロージャー誌を作成いたしました。

今年度は、平成16年3月期の結果を踏まえて、業績の回復(V字回復)を確実なものにするために、経営健全化計画の策定等を通じて抜本的収益改善へ向けて各種施策に取り組んでいます。こうした結果、平成16年9月中間期は、おかげさまで中間期として過去最高の業務純益ならびに中間純利益を計上することができました。

こうした中、当行は第5次中期経営計画の重点施策の中に「環境保全活動等へのサポート」を掲げ、「出来ることから始めよう」を合言葉に、環境問題への取り組み(エコ活動)も開始しました。環境保全活動面からも「地域貢献No.1銀行」を目指しております。

今後は、優先株式の復配だけでなく普通株式についても早期復配を視野に入れ、更に皆さまのお役に立てるよう更なる業績向上に努力してまいります。皆さま方のお一層のご支援、ご愛顧をお願い申し上げます。

取締役頭取 **河 口 和 幸**

※本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨て表示しています。

## 経営理念

地域発展に貢献する最高の金融・情報サービスを提供する銀行

心のふれあいを大切に、お客さまとともに歩む銀行

人間性豊かな働きがいのある銀行

## 第5次中期経営計画基本方針

(期間/平成16年4月～平成18年3月)

# 改革 飛躍 Power up Plan 2006

### 信頼性の向上

- ①資産内容の改善(不良債権の削減)
- ②企業再生支援取組みの強化
- ③実効性ある業務管理体制の確立  
(コンプライアンス体制・リスク管理体制の強化)

### 収益力の向上

- ①収益5本柱の推進  
(業容の拡大、預貸金利鞘の拡大、手数料収入の増強、リストラの推進、信用コストの削減)
- ②経営効率化の追求

### 新たな視点からの金融情報・サービスの提供

- ①創造的金融サービスの提供
- ②CS(お客さま満足度)の向上
- ③環境保全活動等へのサポート

### 改革の断行 新しい風土の醸成

### 本支店一体化による活力ある職場づくり

- ①働きがいのある職場づくり
- ②顧客指向に基づく本支店連携の強化  
(現場主義の徹底)

自己資本比率8%の早期回復

地域貢献No.1銀行

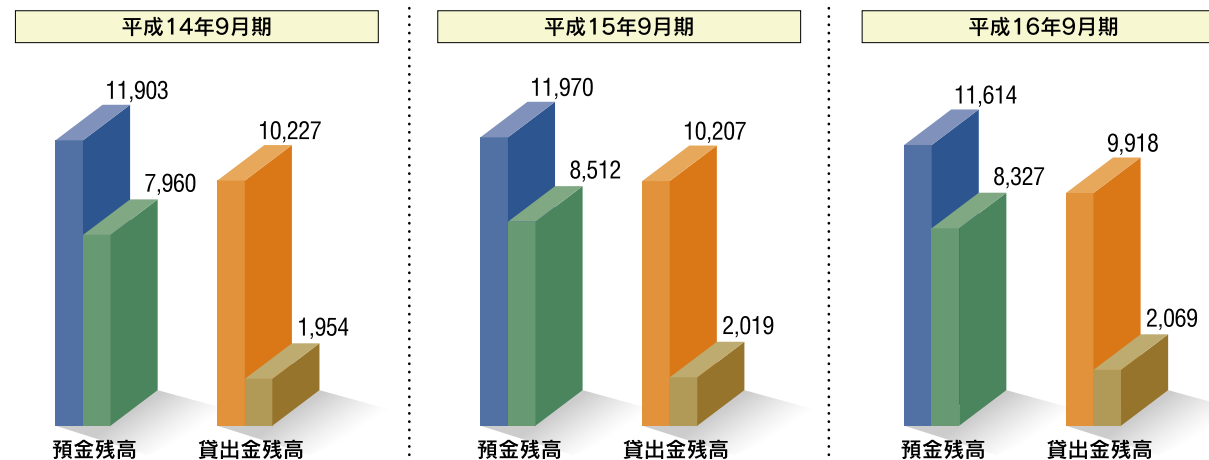
# 営業の状況

## 1 預金について

預金残高は、1兆1,614億円となりました。このうち個人預金残高は、8,327億円となりました。

預金残高及び貸出金残高 (期末、単位：億円)

■ 預金残高 ■ うち個人預金残高 ■ 貸出金残高 ■ うち個人ローン残高



## 2 貸出金について

貸出金残高は、9,918億円となりました。このうち個人ローン残高は、2,069億円となりました。

## 3 利益について

業務純益及び中間純利益は中間期としては過去最高額となりました。

利益の状況 (期末、単位：百万円)

	平成14年 9月期	平成15年 9月期	平成16年 9月期
業務純益	6,852	6,314	7,128
与信関係費用	1,738	10,174	4,254
経常利益 (△は経常損失)	3,111	△3,671	2,564
中間純利益 (△は中間純損失)	1,728	△2,433	2,553

### 用語のご説明

**業務純益** 預金・貸出金・為替等の銀行本来の業務で得た利益です。

**与信関係費用** 一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理損失額

**経常利益** 業務外の活動も含む会社全体の利益ですが、土地の売却損益や災害による損失等の特別なものは除きます。

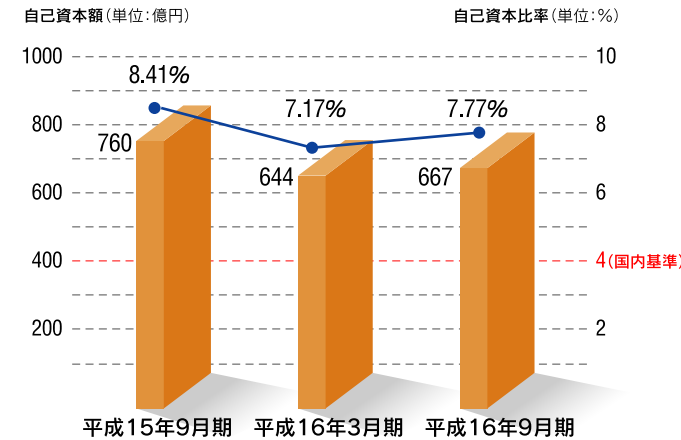
**中間純利益** 経常利益に特別損益を加え、そこから税金等を引いた最終利益です。



## 4 自己資本比率について

自己資本比率とは銀行の健全性を示し、銀行の体力を見る上で重要な指標の一つです。当行のように国内のみで営業する銀行は4.0%以上であることが義務づけられており、当行の自己資本比率は7.77%で、この4%を十分確保しております。

自己資本額及び自己資本比率



## 5 連結決算について

当行の連結決算の状況は次の通りです。

	平成14年9月期	平成15年9月期	平成16年9月期
経常利益 (△は経常損失)	3,249	△3,606	2,586
中間純利益 (△は中間純損失)	1,820	△2,368	2,540
連結自己資本比率	8.74%	8.44%	7.83%

### 主要な連結子会社等

- 熊本ファミリービジネス(銀行事務代行業務)
- 熊本ファミリー総合管理(銀行担保物件競落業務)
- 熊本ファミリー不動産(不動産賃貸管理業務)
- ケイ・エフ・シー(コンピュータソフト開発販売業務)
- 熊本カード(クレジットカード業務)
- ファミリーカード(クレジットカード業務)

## 6 不良債権について

金融再生法に基づく開示不良債権は、16年3月期比130億円減少し1,060億円となりました。これらの債権については、担保・保証等や貸倒引当金で78.3%をカバーしています。

金融再生法に基づく開示債権の状況(単体) (平成16年9月末)

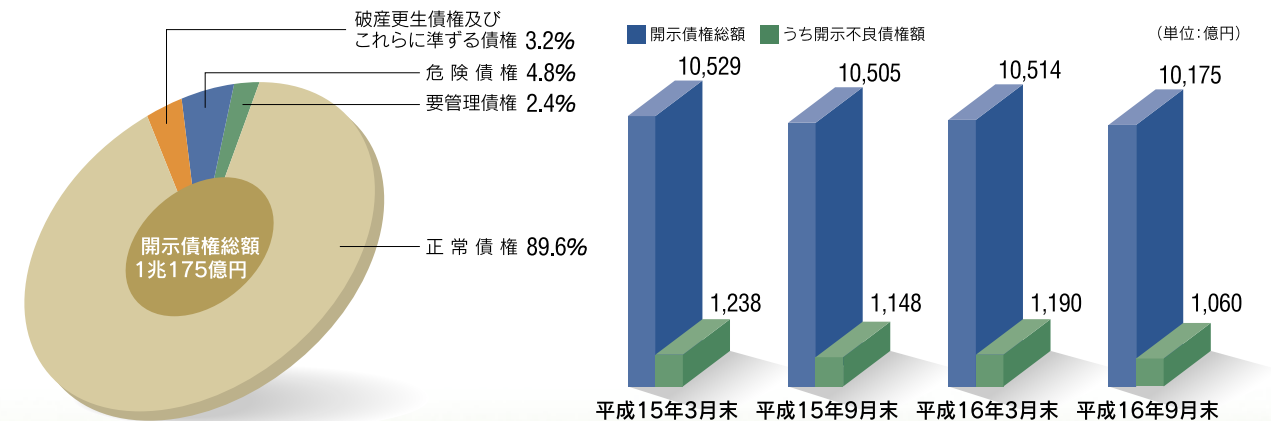
区分	金額(A)	担保・保証等による 保全額(B)	個別貸倒引当金等 残高(C)	保全率 $\left(\frac{B+C}{A}\right)$
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (イ)	326	286	40	100.0%
危険債権(ロ)	489	299	94	80.6%
要管理債権(ハ)	244	83	26	45.0%
不良債権計(イ+ロ+ハ)	1,060	669	161	78.3%
正常債権(ニ)	9,115			
合計 (イ+ロ+ハ+ニ)	10,175			

### 用語のご説明

**破産更生債権及びこれらに準ずる債権**  
破産、会社更生、民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

**危険債権**  
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

**要管理債権**  
3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。



# 経営健全化計画

当行は、平成16年3月期の決算にかかる優先株の配当が無配になったことに伴い、平成15年9月に見直した「経営の健全化のための計画」をさらに変更し、平成17年3月期以降の業績の回復と復配を確実にものとするための諸施策に取り組んでまいります。

## 経営健全化計画の概要

(単位:億円)

	平成16年3月期 実績	平成17年3月期 計画	平成18年3月期 計画	平成19年3月期 計画	平成20年3月期 計画
業 務 粗 利 益	298	310	313	318	321
経 費	168	170	170	169	169
実質業務純益(注1)	129	140	143	148	152
与信関係費用(注2)	282	86	66	51	41
株式等関係損益	△8	0	—	—	—
経 常 利 益	△168	47	70	90	104
当 期 利 益	△171	27	39	53	61
O H R (注3)	56.38%	54.84%	54.31%	53.14%	52.65%

(注1)実質業務純益は、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2)与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理損失額

(注3)OHRは、経費÷業務粗利益

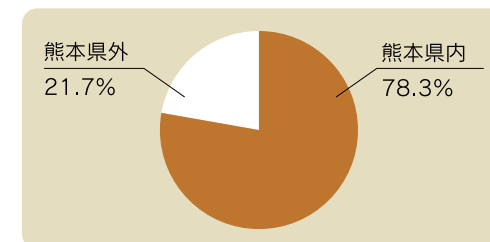


# 地域の皆さまとともに

## 1 地域への貸出金等について

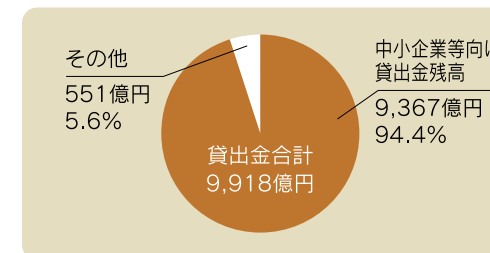
### 1 当行貸出金の地域別残高と比率

平成16年9月末の当行の貸出金残高は、9,918億円であり、このうち熊本県内は78.3%の7,766億円、熊本県外が21.7%の2,152億円となっています。



### 2 当行の中小企業等向け貸出比率

平成16年9月末の当行の中小企業等向け貸出金残高は9,367億円であり、貸出金全体に占める比率は94.4%となっています。



※中小企業等とは、中小企業と個人です。

### 3 企業及び個人事業主向け事業者ローン

事業者の皆さまの資金ニーズにすばやくお応えするために、「無担保」「第三者保証人不要」「スピード回答」を特徴とした「スピードビジネスローン(SBL)」、「スピードサポートローン(SSL24とSSL72の2種類)」の3商品と、熊本県信用保証協会の保証をつけた「SSLK」および平成16年8月2日より取扱いを開始しました「くまもとファイト資金」を含めた平成16年9月末のこれら5商品のご利用残高は、3,077件255億円となっています。

### 4 地方自治体の制度融資の取り扱い件数と金額

平成16年9月末の地方自治体の制度融資の取扱い件数・金額は、8,421件の524億円となっています。このうち熊本県内での取扱いは、8,335件の522億円となっています。

### 5 個人のお客さまのためのローン

個人のお客さまのお使いみちにに応じて、28種類の豊富な消費者ローン、住宅ローンの商品を取揃え、ライフプランのお手伝いを提案いたしております。平成16年9月末の個人ローンの貸出金全体に占める比率は、20.8%となり、前年同期比1.0%増加しました。

## 2 地域振興について

### 1 インフラ施設等への投資件数と金額

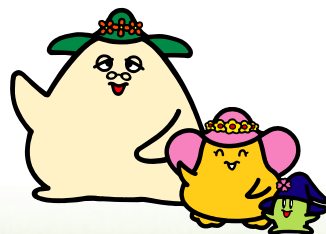
熊本県内の第三セクターが運営するインフラ施設等への投資件数と金額は、平成16年9月末で11件の約2億円となっています。

### 2 地域産業への助成

熊本県の伝統的工芸を振興することを目的に、平成元年「熊本県伝統的工芸品産業振興基金」を設立しました。これは、陶芸や染色など伝統的工芸品の作り手の技術向上と後継者の育成を目的としたもので、設立以来、多数の方々への助成が実施されています。

### 3 地域振興にかかる財団等への資金的・人的支援

(財)熊本県起業化支援センター、くまもとファズ(株)、(財)グランメッセ熊本等に対して資金出捐や人材派遣等を行い、地域振興活動を支援しています。



## 3 地域サービスの充実について

### 1 インターネット&モバイルバンキング

法人向けインターネットバンキング「ビジネスWebサービス」を平成16年7月20日より取扱い開始。また、パソコンや携帯電話によりお取引ができる個人向けインターネットバンキング「ファミリーチャネル」も好評で、平成16年9月末現在、12,358名のお客さまがご契約いただいております。

お振込みや残高照会などのほか、マイカーローンや教育ローンをはじめとする9種類のローンの仮申込みができます。

### 2 各種セミナー・相談会の開催

熊本ファミリーニュービジネスクラブを通じて様々なセミナーや研修会を開催し、会員の皆さまの事業支援活動を行っています。今年度(16/4月~16/9月)は、5回開催し、延べ187名のお客さまが参加されました。

平成16年度上期(16/4月~16/9月)セミナー・研修会開催実績

日程	会場	テーマ	講師	参加人数	
平成16年 5月21日	グランメッセ 熊本	九州における中小企業の 経営革新の取組	九州産業 経済局	40	
平成16年 5月21日	グランメッセ 熊本	女性パワーによる マーケティング活用術	(株)談	40	
平成16年 5月22日	グランメッセ 熊本	ITによる新たな 業務のあり方のご提案	マイクロ ソフト	40	
平成16年 8月24日	流通情報 会館	建設業 経営革新セミナー	吉永公認 会計士	28	
平成16年 9月17日	流通情報 会館	プライバシーマーク 認証取得支援セミナー	(株)全国実 務管理協会	39	
				参加人数計	187



お取引先  
新入社員研修会



年金相談会

また、当行は「社外経営会議」と称する様々な業種の若手経営者の交流・研修の場を提供し、講師を交えての勉強会を開催しています。現在は第7期生が17名参加されており、第1期からの延べ参加者数は174名になります。

その他には、【お取引先新入社員研修会】【確定申告相談会】【年金相談会】【無料電話健康相談のサービス】などを実施しております。

### 3 熊本経済経営研究所による調査・研究

平成4年に当行により設立し、調査活動の成果を地域社会に還元することを目的に活動を行っており、お取引先、地元経済界やマスコミ等まで広く情報の提供を行っております。

### 4 お客さま相談室の設置

お客さまからの苦情やご相談を受け付けております。銀行業務に関してお困りのことや当行へのご意見、ご要望がございましたら、ご遠慮なくお申し付けください。また、税理士による「税務相談」と弁護士による「法律相談」も開催しています。お気軽にご利用ください。

【税務相談】 毎週木曜(午前9時~午後4時)

【法律相談】 第1、第3水曜(午前10時~午前12時)  
※法律相談は事前予約をお願いします。

【お客さま相談室】

TEL096-385-2261

受付時間: 月曜~金曜(午前9時~午後5時)  
※ただし、銀行休業日は除きます。

## 4 社会貢献活動について

【環境問題への取組み(エコ活動)】【CSR(企業の社会的責任)の推進】【「小さな親切」運動への取組み】【地域行事、ボランティア活動への参加】【地域文化・体育活動などの支援】を積極的に行っています。



ボランティア研修



「小さな親切」運動  
車いす贈呈

# 環境問題への取組み

当行は第5次中期経営計画(平成16年4月～平成18年3月)において「地域貢献No.1銀行」を目指すこととしています。その中に「環境保全活動等へのサポート」を重点施策の一つに掲げ、環境問題やCSRの推進に積極的に取り組むこととし、「できることから始めよう」をスローガンとして「エコ宣言」を行いました。

まずはその第一弾として地域のお客さまへ以下のエコ商品の発売やISO等認証取得支援業務を開始しました。

## 預金関連エコ商品

- ・ふるさと環境応援定期

## ローン関係エコ商品

- ・住宅ローン(エコプラン)
- ・リフォームローン(エコプラン)
- ・エコカーローン
- ・介護・エコローン

## 事業資金融資関連エコ商品

- ・エコサポート資金
- ・環境ISOサポート資金
- ・健康サポート資金

## エコ関連投資信託

- ・モーニングスターSRI  
インデックス・オープン

## 環境保全活動等への情報提供・支援

- ・ISO等認証取得支援サービス

「ふるさと環境応援定期」の残高に応じて、  
熊本ファミリー銀行が環境団体に寄付します。

平成17年3月末「ふるさと環境応援定期」  
預金残高×0.03%に相当する金額を  
当行から環境団体に寄付いたします。

寄付の対象となる環境団体は公募を行い、  
当行にて決定します。

なお、審査にあたっては、

「有識者を含めた選考会」の開催を予定しています。

公募期間 / 平成16年10月1日(金)～平成16年12月30日(木)

公募要領 / 公募の内容および応募に必要な申請書類の  
様式については、当行の本支店にお問い合わせください。  
または、ホームページ

<http://www.kf-bank.jp> から入手できます。

お問い合わせ / 熊本ファミリー銀行 営業統括部 環境活動公募係  
TEL096-385-1141まで  
(受付時間:月～金 AM9:00～PM5:00 土・日・祝日は除く)

第二弾として、「エコ宣言」に掲げた環境マネジメント体制の構築の一環として、企業の社会的責任への対応を統括する「CSR推進室」を設置し、行内においてISO認証取得に向けた活動を開始しました。

# リレーションシップバンキング

## 「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の進捗状況

### I 中小企業金融の 再生に向けた取組み

#### 1 創業・新事業 支援機能等の強化

産学官ネットワークの構築・活用につきましては、「産学連携支援サービス」にて、熊本大学への技術相談取次ぎによる連携支援サービスに努めています。平成16年9月迄の取次ぎ実績は4件となりました。

中小企業支援センターの活用につきましては、「くまもとプラットフォーム支援サービス」にて、専門家によるアドバイス等、経営課題の解決策を提供できる態勢を整備しました。平成16年9月迄の取次ぎ実績は3件となりました。

政府系金融機関との連携強化につきましては、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫及び農林漁業金融公庫との業務連携等に関する覚書を締結し、情報共有・協調融資を実施しています。平成16年9月末迄の協調融資(再生支援含む)の取扱い実績は17件の約30億円となりました。

#### 2 取引先企業に対する 経営相談・支援機能の強化

ビジネス・マッチング情報の提供につきましては、平成16年5月に10回目となる大規模商談会(インフォネットフェスティバル)を開催しました。出展企業171社、来場者数は約9,000人と盛況で、ビジネス・マッチングが成約した事例も多数出ています。今後更に内容を充実し、情報提供機能の強化を図ってまいります。

新たなサービスの提供として、「ISO認証取得支援サービス」を平成16年9月から開始し、ISO認証取得を目指す取引先企業の支援を行う態勢を整備しました。

取引先の経営相談や経営支援等につきましては、税理士・経営コンサルタントを講師に迎え「経営支援セミナー」を年2回開催し、専門家による問題点解決のための経営情報の提供を行っています。



インフォネット  
フェスティバル



経営支援セミナー

#### 3 早期事業再生に向けた 積極的取組み

企業再生ファンドにつきましては、平成16年5月にオリックス(株)が運営する「九州広域企業再生ファンド」に参加しました。また、中小企業支援協議会を活用した再生スキームにも取り組んでいます。その他DES、DIPファイナンス等の活用、RCC信託機能の活用、産業再生機構の活用等につきましては、研究担当者を任命し今後の活用に向けての態勢整備を行いました。

# リレーションシップバンキング

## 4 新しい中小企業金融への取組みの強化

担保保証に過度に依存しない融資の促進につきましては、スピーディーな融資対応を行うためのスコアリングを活用した事業性ローンの新たな商品として、平成16年8月に「くまもとファイト資金」、平成16年9月に産業支援資金「人、環境にやさしい資金」の取扱いを開始しました。

## 5 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化

お客さまへの説明態勢の整備につきましては、平成16年6月に、「与信取引における説明態勢規則」を具体化した「融資説明マニュアル」を作成し、説明義務を徹底する態勢を整備しました。

苦情処理機能の強化につきましては、平成16年9月に、営業店で発生した苦情を行内LANで担当部署へ報告するシステムを構築するなど、苦情処理態勢の見直しを行いました。

## 6 進捗状況の公表

当行のホームページに、平成16年9月までの進捗状況を掲載しています。詳細につきましては、新しくなりました当行ホームページ(新URL <http://www.kf-bank.jp>)をご覧ください。



## II 金融機関の健全性の確保、収益性の向上に向けた取組み

### 1 資産査定、信用リスク管理の強化

平成15年9月に償却・引当規則、平成16年1月及び7月に自己査定基準の改定を行い、償却・引当のより一層の厳格化を図りました。また、担保評価の厳格化を目指し、担保評価センターへの移行を進めており、平成16年12月までに完全移行予定です。

### 2 収益管理態勢の整備と収益力の向上

平成15年7月から新格付システムを仮稼働させていましたが、平成16年度上期に格付付与が完了し、これにより格付の一層の精緻化が図れることとなりました。今後、さらに格付と債務者区分の整合性を高めてまいります。

### 3 地域貢献に関する情報開示等

平成15年12月、平成16年6月発行のミニディスクロージャー誌、及び平成15年7月、平成16年7月発行のディスクロージャー誌に、地域貢献についての記載を行いました。また、当行ホームページにも「地域の皆さまとともに」を新設し掲載しています。今後も更に地域貢献に関する情報開示に努めてまいります。

# ペイオフについて

## 平成17年4月からペイオフは全面解禁となります。

ペイオフの全面解禁については、平成14年10月に政府が2年間の延期を決定しました。その後、同年12月に預金保険法の改正が国会で決議され、当座預金・別段預金・普通預金は平成17年3月末まで、引続き全額保護されることとなりました。また、平成17年4月以降は、当座預金等の利息のつかない等の条件を満たす預金が全額保護されることになります。当行は、ペイオフ全面解禁後も預金保険制度の全額保護の対象預金である「決済用預金」の取り扱いを平成16年10月より開始し、お客さまのニーズにお応えできるよう商品の品揃えを行いました。

### 預金保護の姿

商品/預金保険の対象商品		期 間	
		平成14年4月～平成17年3月	平成17年4月～
預金保険の対象商品	当座預金 普通預金 別段預金 (決済用預金)	全 額 保 護	利息のつかない等の条件を満たす預金(※)は全額保護
	定期預金 定期積金等	合算して元本1,000万円までとその利息等を保護	
対象外商品	外貨預金 譲渡性預金等	保 護 対 象 外	

(※)「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。当行の決済用預金もこの条件を満たしています。

## 個人情報保護法への取組みについて

平成17年4月1日より個人情報保護法が全面施行されることとなりましたが、この法律は金融機関のように、大量の個人に関する情報を業務に使用している事業者に対して、個人情報の取扱いに関する特別な義務を課しています。当行では「顧客情報管理要領」を定めて、顧客情報の厳正な管理を行い、適正な対応のうえ、不正使用や内容漏洩の防止に努めています。また、IT化の流れに対応するために「情報セキュリティポリシー(基本方針)」に基づいた、情報資産を守るための「情報セキュリティスタンダード(安全対策基準)」を定めています。法律の全面施行を控え、さらに個人情報に対する社会の関心が高まる中、当行はより強固で安全な情報管理体制の構築に努めてまいります。





私たちは、エコ活動を推進しています。

**熊本ファミリー銀行**

<http://www.kf-bank.jp>

平成16年11月発行  
熊本ファミリー銀行 経営管理部  
TEL 096-385-1117



この印刷物は自然環境保護のために、  
大豆油インキを使用しております。

